

馬の耳

どんな良い話を聞いても、何も行動しなかった私が「馬」ではなく「人間」である証明をする為、勉強会等で学んだことをまとめ、この「馬の耳」を作ることにしました。お世話になっている皆様のために、少しでもお役に立てればと思います。



発行日 2009年5月1日

発行元 (有)沼津電話工事

小野博文

〒410-0022 静岡県沼津市大岡3916-8

055-921-1551 tel

055-922-1144 fax

<http://www.net-ndk.co.jp/>

ono@net-ndk.co.jp

【営業同行日・その夜】

娘の件では色々な方からご心配、応援のメッセージを頂きまして、本当にありがとうございました。その娘が先日「東京ばな奈」を持って、帰って来ました。実家にお土産なんて、ちょっぴり笑ってしまいましたよ。少しやせた感じですが、とても元気そうで、ホッとしました。でも、数日でもう戻ってしまうそうです。「こっちに長くいると、リズムがくるってしまうから」らしいです。ちょっと複雑です。

今、これだけ世の中の景気が良くないと、私たちのお勧めする設備などは後回しになってしまいます。そんな中、昨日は営業の社員と同行して4件の見積り依頼を頂く事が出来ました。こんな時代に本当にありがたいです。私と彼の営業スタイルはまったく違います。社長という立場で、長いことお付き合いいただいている関係での営業と、一社員で、ほとんどお付き合いのない社員さんとは当然違って来ます。昨日私が同行すると、彼が何回訪問しても話が進まなかったお客様からお見積りの依頼を頂いたのです。私は「ありがたい」と思ったのですが、今まで「営業実績」を「自分の価値」として生きてきた彼としては少しさみしそうでした。

戻ってきてから彼と一杯やりながら、「うちの会社は、だれか一人の手柄を期待しているわけではない。チームワークで点数を上げていくんだよ!」という話をしました。得点ばかりねらっている彼にとっては、ディフェンスやキーパーが守っているのは、あまりにも当たり前で、その存在にすら気づいていなかったかもしれません。

先日たまたま見つけた40年以上前のうちの会社の写真を肴に、昔話にも花が咲きました。もちろん白黒写真で会社の前の道はガタゴト道。「日本電信電話公社公認 沼津電話工事商会」と看板に書かれています。経理をやってくれている母を交え、そんな写真を前にお酒を呑みながら、会社の歴史、先ほどの話、そしてこれからの沼津電話のあるべき姿を話す事が出来たのは、本当に良かったです。祖父、父から受け継いだこの歴史を守り、新しい沼津電話を社員と一緒に作っていきたいと思います。



沼津経営塾開催日

5月28日(木) 市民文化センター第四会議室 PM7:00より

【東大生の秘密】

少し前に話題になった本に「東大合格生のノートは必ず美しい」という本がありますが、内容に対する反響が大きく、その疑問に答えて、「東大合格生のノートはどうして美しいのか?」という第二弾の本が発売されたようです。(この～商売上手!)

東大生というと“特別な人”というイメージがありますよね! どんな人がいて、どんな人が東大生になれるのだろうか?と置いていたところ、東大生に行ったアンケートに関して興味深い話を杉井先生が教えてくれました。そのアンケートの中に、3つの顕著な傾向を発見したということです。

①東大生の半数以上の親の年収は900万円以上である。(あれあれ?)

②親が優秀、だから子供も優秀。つまりDNA!(やっぱり!)

③毎朝、しっかり朝食を食べている。

①②で、もうアウトです。しかも私は朝食抜きでしたから… チョーショック!(笑)

朝ごはんは量より品数が多く、親と一緒に食べている子どもが多いようです。

また、時間についても面白い結果が出たそうです。

①PM8時～9時に寝る子どもの成績が一番良い。

②睡眠時間が7～8時間の子供の成績が一番良い。

③勉強時間は3時間が最も良く、それ以上やってもそれほど効果が見られない。

杉井先生の話によると、成績を良くしようとして無理に勉強をさせることよりも、生活習慣を整えることのほうが効果的なのだそうです。

私はその話を聞いて、「会社も同じだ」と思いました。私も営業成績を上げようとしたことはありますが、自社の生活習慣を整えようとしたことはあまりありませんでした。しかし、売上を上げたい。儲けたいと思って一生懸命に営業しても、その会社の対応の速さや、報・連・相のような企業の生活習慣が整っていなかったら、業績成績は伸びるはずがないですね。会社のためにも、応援してくれるお客さまのためにも、そして頑張ってくれている営業社員のためにも、これから沼津電話工事の“生活習慣”を整えていこうと思います。

【世界電子図書館】

国連教育科学文化機関(ユネスコ)は4月21日、インターネットを通じて世界の古典の原著をオリジナルの言語で閲覧できる「世界電子図書館」をスタートさせました。日本からは「源氏物語」「小倉百人一首」などが登録され、世界のどこからでも無料で読めるようになりました。私は見ないと思いますが…(汗)



お馬様の
今月のお言葉

お馬様の
今月のお言葉